



子育ての



方法？

子育てが出来ない親

No.2

子育てが出来ない人ほど、自分の**考え方**や**やり方**、自分の**常識**や**固定概念**などを押し付け、自分と同じように出来なければ「こんな事も出来ないのか！」と、**説教**や**文句**を言う人。**責める人**。**怒る人**。**罵倒する人**などの攻撃をする人も居るし、出来るまで**体罰**や**虐待**などの**暴力行為**をする人も居ますよね。

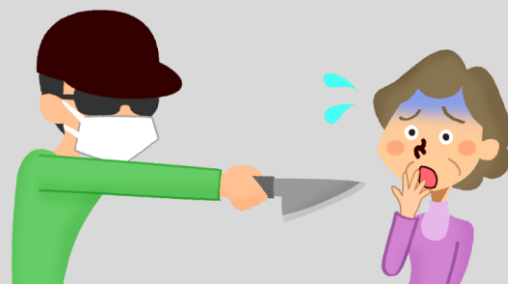


自分が子供だったら？自分がやられたらどうでしょうか？嫌ですよね。これこそが「**子育てが出来ない人**」「**自己中のモンスター**」の**やり方**、**方法**だと思いませんか？

その他にも、我が子が可愛いからと我儘を許す人や辛い事をやらない親、我が子に嫌われたくないと機嫌を取る親、何も知らない子供に、自主性を持たせる為と言って放任する親なども、一般の人から観れば「子育てが出来ない人」「思考が発達していない人」「本物の馬鹿」などと、評価されていますよね。我が子の未来を考えたら、どうなるのか予想が出来ると思いませんか？



No.3



子育てが出来ない親が増えれば増えるほど、自己中から、幼児から成長が出来ない人が増えるし、駄々っ子モンスターやクレイマー、自分の欲の為だけに行動する人やストーカーなどの犯罪者が増えるので、世の中の善良な人々を苦しめる人達で溢れてしまい、争いや戦争が絶えない世の中になってしまいますよね。

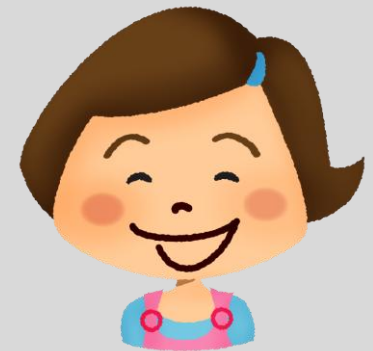
子育ての方法No.1

地球の歴史を見れば、古代から子育てしているので、どんな子育てをすれば、どんな大人に成長するのか、ある程度、子育ての結果が分かるので、常に、我が子の未来を予測しながら、世界中の歴史から、先人から、周囲の人達から学んでみてはいかがでしょうか。



No.4

子育ての方法No.2



常に、自分が子供だったら？親だったら？相手の立場だったら？と**親子で視点を変えて考え**、どんな言い方や説明の仕方が、対応の仕方が良いの？この方法で自分は鍛えられるの？練習が出来るの？などと考えて、試行錯誤をすれば「**正しい子育てが出来る人に**」なれるかも知れませんよね。（**視点を変えて考える練習1**）

子育ての方法No.3

何か問題や気になる事があれば、親子で**どう思う？どんな手順で考えているの？」「どんな基準で決めたの？」「それって平等？自分に都合よくない？」「他の人はどうなのかな？」**などと話し合い、様々な人にも聞いて確かめながら学べば、自分の知らない**考え方、手順、基準、様々な常識**などが学べますよね。



No.5

子育ての方法No.4



世の中の**良い事と悪い事**は、**どんな理由で判断しているの？基準は？良い事と悪い事の使い方は？応用は？**などと考えてみる。
(この練習をすると、ある程度、分析出来るようになるので、世の中の**嘘やデマ**が、見破れるので**固定概念が変わる**人も多し**意見や反論**が出来るようになると思いますか？)

子育ての方法No.5

実際に自分がやられないと、相手の立場になって考えないと、相手の苦悩や苦しみなどが理解出来ないと思いませんか？ですから、自分があの人だったらどうする？どう思う？どうすれば良いのか、解決が出来るのか？などと、我が子と一緒に考えてみてはどうでしょうか？（常に弱い人の立場、出来ない人の立場、幼い人の立場、失敗した人の立場で考える練習を身に付ければ、**優しさ**や**慈愛の心**が**育つ**と思いませんか？
（視点を変えて考える練習2）



No.6

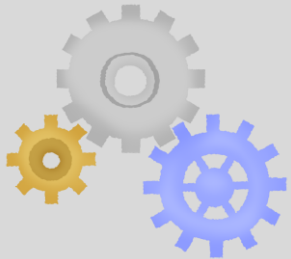
子育ての方法No.6



周囲の人達の表情や言葉使い、態度や行動などで、気が付いた事は無かった？身の回りの環境や状況で、気が付いた事や分かった事は無かった？と、毎日聞いてみる。毎日意識して行動するだけで状況判断の練習になるとと思いませんか？（この練習をすると、記憶力や状況判断、決断力が早くなるので、思考が発達しますよね）

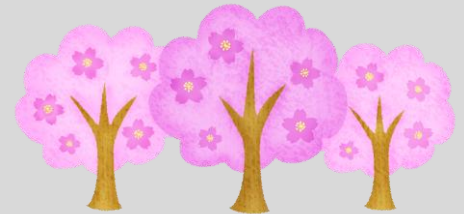
子育ての方法No.7

臨機応変に対応が出来る人になるのには、様々な人の対応の仕方を観察して、何故その対応が出来るの？考え方は？基準は？などと、答えを探して納得が出来れば、対応の数が増えますよね。
(あの人の対応の仕方はどう思う？どんな考え方をしたら、あの対応が出来ると思う？と、聞いてみれば、**対応の仕方の練習**になりますよね)



No.7

子育ての方法No.8



他の人の考えも基準も分からないので、自分では大丈夫だと思った言葉や態度などで、相手は酷い事を言われた、やられた、傷付いたと思う人も居るかもしれませんよね。ですから、常に自分の言動をチェックし、自分が言われたら？やられたら？どうだろうかと考えたり、相手を観察してチェックしたりすれば、自分の言動を修正する事が出来ると思いませんか？(**自分を修正する方法のひとつ**ですよね)

実際に体験や経験をしなければ、学べない事って多いですよ。ですから、何でもやらせてみて「何か学べた?」「どんな失敗をした?」「何故失敗した?」「どうすればいい?」などと話し合えば、親子で学べるし、経験や体験の数が増えれば増えるほど、今まで知らなかった事が学べると思いませんか?(昔から、我が子を成長させたいのなら、可愛い子には旅をさせよとか「他人の飯を食わせろ」とか体験させて学ばせた方が、成長出来ると、教えてくれていますよね)

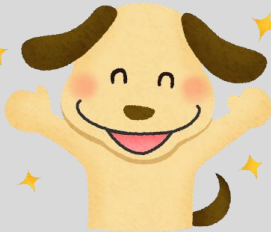


ですから、体験や経験など、様々な事から学んだ内容ではなく、自分の空想や想像だけで考えた内容が正しいと主張する人を、一般的には全く使えない「机上の空論」を語る人と言いますよね。学歴が高い人ほど「机上の空論」を語る人が多いと思いませんか?

子育ての方法No.10

No.9

「何か分かった?」「何が学べた?」「他に学べる事は無い?」などと考える習慣を身に付ける為に、常に我が子に質問をすれば、自然に学べる内容を探せる人に、増やせる人になれると思いませんか?



子育ての方法No.11

世の中の常識は、学んだ内容や量によって、思考レベルによって変わるので、常に相手や周りの人の話を聞いたり、どんな常識を持っているのかを調べたりして、様々な常識を学び、多くの人と円滑な人間関係を作れるようにしてみてもいいでしょうか?

子育ての方法No.12

No.10

成長するには何が必要？何が足りない？と我が子と一緒に考えれば、我が子も子育てが出来る人になれますよね。



子育ての方法No.13

何でも学ぼうと思えば、どんな人からでも、動物からでも学べる内容が見つかるので、全ての相手が「**先生**」と考え「学べる事は？」
「何が学べる？」と視点を変えて考えてみれば、学べる内容が増えると思いませんか？（視点を変えて考える練習2）

ご注意. 1

この他にも子育ての方法はありますので、様々な人から学んでくださいね。それに、今回の解説の順番は、決まっていないので、やりやすい所から、徐々にやってみて下さいね。出来なくても何も問題は無いし、出来る方法を探してみてくださいね。



No.1 1



ご注意. 2



自分の考えややり方、基準や常識が正しいと思った瞬間、人の意見は聞こえなくなるし、自分の考えを押し付けるモンスターになっている事に気が付きましょう。常に柔軟な思考で対応が出来る人を目指してくださいね。

子育ての方法？

2025.01.11

みなかみ源の解説

© みなかみ源事務所